

指導力評価に関するチェックリストの項目一覧の全体構成について(案)

※1 本資料は全体構成を見やすくするため、便宜上「・」のレベルの細かな項目は省略している。「・」のレベルの細かな項目も含んだ修正後のチェックリストについては、資料4、修正前のチェックリストについては参考資料1を参照。  
 ※2 修正を加えた項目は赤字で示し、その修正理由や修正内容等を欄外に示している。  
 ※3 「地域日本語教育指導者」については「指導者」、「地域日本語教育コーディネーター」については「コーディネーター」と略称している。  
 ※4 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案についてについては「カリキュラム案」、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック」については「ガイドブック」と略称している。

修正案	指導者	コーディネーター	修正前	指導者	コーディネーター	
PLAN-DO- CHECK-ACTIONの別			PLAN-DO- CHECK-ACTIONの別			
指導力評価に関するチェックリストの項目			指導力評価に関するチェックリストの項目			
<b>PLAN(企画)</b>			<b>PLAN(企画)</b>			<b>(修正理由, 修正内容等)</b>
1. 域内の外国人の状況・ニーズ, 地域のリソース等の把握			1. 域内の学習者の状況, 生活課題, 地域のリソース(人的・物的資源)等の把握			
1) 対象とする学習者の属性や数の把握			1) 対象とする学習者の属性や数の把握			
(1) 対象とする学習者の属性や数を把握している			(1) 対象とする学習者に関する情報を収集している			
2) 生活課題の把握			2) 学習者の生活課題の把握			
(2) 生活課題を把握している			(2) 学習者の生活課題に関する情報を収集している			
3) 地域のリソースの把握			3) 地域のリソース(人的・物的資源)の把握			
(3) 地域のリソースを把握している			(3) コーディネーターの配置と役割が適切である			
			(4) コーディネーター本人の姿勢が適切である			
			(5) 指導者の育成が適切である			
			(6) 指導者の配置と役割が適切である			
			(7) 日本語教室のために適切な場所がある			
			(8) 日本語教室を行うための適切な環境を準備している			
			(9) 日本語教室をより良くするための地域の様々な情報を収集している			
			(10) 教材, 情報を準備している			
2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討			2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討			
4) 日本語教室の目的を設定			4) 日本語教室の目的を設定			
(4) 生活課題の解決に向けた日本語教室の目的を設定している			(11) カリキュラム(中期的な学習計画)の目的が適切である			
5) 学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置			5) 学習者のニーズ, 地域のリソースに基づいた教室の設置			
(5) 地域課題, 域内の外国人の状況に対応した日本語教室を設置している			(12) 教室の企画, 立ち上げを準備している			
(6) 行政・関係機関との連絡調整を行っている			(13) 活動の現状を共有・活用している			
			(14) 先行する事例を共有・活用している			
			(15) 活動の意義や内容を発信している			
			(16) 関係機関や地域と連携している			
3. 具体的な日本語教育プログラムの作成			3. 具体的な日本語教育プログラムの作成			
6) 学習内容について検討			6) 学習内容, 学習順序, 学習時間, 指導者・協力者, 教室活動についての検討			
(7) 学習内容について検討している			(17) カリキュラム(中期的な学習計画)の内容が適切である			
7) 学習順序について検討			(18) カリキュラム(中期的な学習計画)の教室活動が適切である			
(8) 学習順序について検討している			(19) カリキュラム(中期的な学習計画)の時間設定が適切である			
8) 学習時間について検討			(20) カリキュラム(中期的な学習計画)の学習順序が適切である			
(9) 学習時間について検討している			(21) 毎回の活動計画や学習計画が適切である			
9) 指導者・協力者について検討			(22) 教材や教具を準備している			
(10) 指導者・協力者について検討している			(23) 教室活動を準備している			
10) 教室活動について検討			(24) 教室環境を整えている			
(11) 行動・体験中心の活動について検討している						
(12) 教材について検討している						
(13) 評価について検討している						
<b>DO(実施)</b>			<b>DO(実施)</b>			
4. 各地域の実情に応じた日本語教育の実施			4. 各地域の実情に応じた日本語教育の実施			
11) 教室の運営			7) 教室の運営・育成			
(14) 教室の運営が適切である			(25) 教室の運営・育成を適切に行っている			
(15) 教室活動の意義や内容を発信している						
(16) 行政・関係機関と連絡調整を行っている						
(17) 日本語教室をより良くするための地域の様々な情報を把握している						
(18) 教室活動の準備を行っている						
12) カリキュラム案の理念に沿った日本語教育の実施			8) カリキュラム案の理念に沿った日本語教育の実施			
(19) 学習者の状況やニーズ等を踏まえた教室活動を実施している			(26) カリキュラム案を理解している			
(20) 課題達成型の教室活動を実施している			(27) 学習者の状況やニーズを踏まえた活動を実施している			
(21) 行動・体験中心の教室活動を実施している			(28) 課題達成型の活動を実施している			
(22) 対話中心の教室活動を実施している			(29) 行動・体験中心の活動を実施している			
(23) 協力者と協働で教室活動を実施している			(30) 対話中心の活動を実施している			
(24) 社会・文化的背景を考慮した教室活動を実施している			(31) 専門家や地域住民と協働している			
(25) 学習者を尊重した教室活動を実施している			(32) 社会・文化的文脈を重視している			
(26) 地域・学習者に応じた教育内容と教材の選択・工夫を行っている			(33) 学習者の主体性を重視している			
(27) 実施の記録・評価			(34) 地域・学習者に応じた教育内容と教材の選択・工夫を行っている			
(28) 教室活動の記録を付けている			9) 実施の記録・評価			
(29) 教室活動の記録を共有している			(35) 日々の記録を付けている			
(30) 教室活動の記録を整理し, まとめている			(36) 日々の記録を共有している			
(31) 日本語能力の評価をしている			(37) 日々の記録を整理し, まとめている			
			(38) 評価をしている			
<b>CHECK(点検)</b>			<b>CHECK(点検)</b>			
5. 日本語教育プログラムの点検			5. プログラムの見直し			
14) 日本語教育プログラムの実施状況の把握・分析			10) 状況の把握・分析			
(31) 教室活動の状況を把握している			(39) 学習支援や教室実施時の状況を把握している			
(32) 関係者の声を把握している			(40) 関係者の声を収集している			
(33) 具体的な実施状況, 成果を分析している			(41) 当初の計画どおりに実施できたことと, 途中で計画を変更したことについて把握している			
			(42) 具体的な実施状況を分析している			
			(43) 一定期間の活動の成果を客観的な視点で分析している			
			(44) 分析結果を適切に解釈している			
			(45) 改善活動を円滑に行うために分析・解釈結果を整理している			
<b>ACTION(改善)</b>			<b>ACTION(改善)</b>			
6. 日本語教育プログラムの改善			6. 日本語教育プログラムの改善			
15) 日本語教育プログラムの改善			11) 日本語教育プログラムの改善			
(34) 改善計画を検討している			(46) 改善計画を検討している			
(35) 改善活動を実施している			(47) 改善活動を実施している			

ガイドブックの「日本語教育プログラム作成手順」に合わせ全体的に修正。

「育成」を削除。  
 「育成」を削除。他の表現と合わせ、「を適切に行っている」を「が適切である」に修正。  
 運営に関する内容であるため、(15)から移行。ガイドブックと合わせて「活動」を「教室活動」に修正。  
 運営段階での話のため、(16)から移行。連携先を明示するため「行政・関係機関」に修正。  
 「より良くする」を運営段階と捉え、(9)から移行。  
 準備に関連する項目として(10)(22)(23)(24)(26)を集約。

ガイドブックに合わせて「活動」を「教室活動」に修正。  
 「専門家」も「協力者」の一部であると捉え、「専門家」を「協力者」に修正。「協働」の内容を明確にするため表現を追加。  
 「・」で挙げられている項目と整合性を取るため修正。  
 「・」で挙げられている項目と整合性を取るため修正。

記録の内容を明確にするため、「日々」を「教室活動」に修正。  
 評価の対象を明確にするため、「日本語能力の」を追加。

ガイドブックに合わせて「プログラム」を「日本語教育プログラム」に、「見直し」を「点検」に修正。  
 プログラムの内容を明確にするため、「日本語教育」を冒頭に追加。  
 ガイドブックに合わせて「学習支援や教室実施時」を「教室活動」に修正。(39), (41)のいずれも教室活動の状況に含まれるため集約。  
 「14) 日本語教育プログラムの実施状況の把握・分析」に合わせ、「収集」を「把握」に修正。  
 分析に関連する項目として(42), (43)を集約。  
 (34), (35)の改善と内容が重複するため、削除。

改善計画, 改善活動について, 指導者, コーディネーターの両方に「○」を付けているが, それぞれの役割により, 取り組む改善計画, 改善活動の内容も異なる。